

～OB&OG 紹介～ PART.7

今回は 24 回生、佐藤真司さんをご紹介します。

佐藤真司さんは、EAGLES の OB 会事務局の局長として OB 会・EAGLES の橋渡しにと、裏から EAGLES のサポートを行って下さっています。

また、今年度より EAGLES 内に育成コーチとして STAFF に加わり、EAGLES の底上げに努めます。

齊藤(以下 SA) - 宜しくお願いします。

佐藤(真)(以下 S) - よろしく。

SA: 現在のご職業を教えてください。

S: IT 関係の会社に勤め、官公庁向けの営業を行っています。

今の会社は 10 年目です。

SA: 大学までのスポーツ歴を教えてください。

S: 小・中・高と野球をやっていました。

SA: EAGLES との出会いについて覚えてますか？

S: 4 月に入学して、ただバイトして遊んでの繰り返しの中、夏休みに突入り、夏休みも全くやる事が無いまま 9 月 20 日から学校が始まって、「何か

しようかな～」と思って、最初野球部を見ていたんだけど、その当時の野球部は、今の野球部とは違ってきっちりしてなくて、惹きつけられなかったんだ。

その隣を見たら、大男達が雄叫びを上げて(笑)やっているアメフト部を見て、「コレをやりたいな」って。

SA: 衝撃的だったんですか？

S: もともとラグビーかアメフトやりたいなと思ったんだけど、ラグビーは当時、部ではなかったので全く知らないアメフトを選んでやってみよう。

SA: 楽しかった思い出のエピソードとかありますか？

S: ん～なんだろう。ん～。あ！やっぱ楽しかったのは、1 番最初に TD 取った時だね。

2 年生のリーグ戦、*初戦の帝京平成大学戦の時、初めて TD 取ったときだね。

* VS 帝京平成大学 35-7 勝利 (1995 SEASON GAME)

SA: その時の思い出というか、感覚は？

S: 感覚は～、あのゴールラインを越えた瞬間は…ん～なんだろう。何か鳥肌が立つと言うか、ゾワゾワゾワって言うのは来たね。『よっしゃー！』って言うのは！

SA: 逆に辛かった思い出ってありますか？

S: 3 年生の合宿。(断言！)

SA: ケガした時だ！

S: そう、ケガした時で且つ、*夏合宿で試合を 4 試合組むというのは初めての事で、その時人数も少なかったしね。

オフェンス・ディフェンスやりながら、且つ、3 年生だったけど副キャプテンだったので、そういうまとめもしつつ、練習をこなしていたので。

もう本当に辛かった。

帰りのバスの中では、もうホントに安堵の中で、『やっと終わった』っていう。。。。ね。

* EAGLES は 7 泊 8 日で夏合宿を行っています。

SA: まあ、確かにあの年はいろんな事がありましたもんね。

S: 一番…ちょうど、こう、何だろう。過渡期と言うか、*祐一さん達と*吉水さん体制で、初めて吉水さんが 1 年間見るという時で、今までの「仲良しクラブ」から「勝つための組織」に変わる時期だったので、その辺も辛かったね。

* 松本祐一(23 回生):EAGLES23 代主将 3 年時には副将。

3 年時は MLB 4 年時は DE で 2 年連続で ALL STAR に選出される。

* 吉水 HC:1995 シーズンの夏から EAGLES にコーチとして就任。

翌 1996 シーズン～2009 シーズンに至るまで EAGLES HC として EAGLES を

指揮。

SA: あの年は*春合宿もやりましたね。

S: あーそうだ。春合宿やって…とにかく練習したなあ。

SA: やりましたね～。

S: 2 部練やったもんね。

SA: 濃かったって言うか、吉水さんが全部のアサイメントを黒板に 1 プレー 1 プレー書いていましたもんね。

S: そう！徹底的に「アメフト」って言うのを教えられていたなあ。

あの時、一番辛かったけど。今思うと凄く大切な時間かな。

* 春合宿:泊り込みでの合宿ではなく、1 週間学校への通い詰めの合宿を行い、午前練→ミーティング→午後練→ミーティングと通いながら、泊り込みの合宿同様に行く。

SA: 思い出の試合はありますか？

S: 思い出の試合は、いっぱいあるなあ。

あ、でもやっぱり、もう何と言っても、オレの場合は*東工戦だね。

最後の、4 年生最後の…あれはもう、一生忘れられないよね(笑)

SA: 何がって言うのも変ですけど。

S: 本当に 4 年間を全て『優勝』する為に賭けて来た試合なんだけど、そこで負けてしまった。と言う現実が受け入れられなかった。

「まさか?」、「勝つしかない!」って疑ってなかったもので、「負ける」

て事が受け入れられなかったね。

* VS 東京工業大学 14-23 敗戦 (1997 SEASON GAME)

SA: 逆に勝っていたら、自分の今後の人生って変わっていましたか？

S: 絶対変わっているでしょう！それまでは、例えば、野球とかで何か優勝したとか、1位を取ったとか。

そういうのって、今まで経験したことが無くて、大学入って、アマフトやって、それに近づけるチームになり、そういったチャンスを得ただけでできなかった。

ま、それがもてきたとしたら、何かもって自信に繋がって「達成した」と言う事実は作れる訳だから、それによって「自信」は得ただろうね。

SA: 負けて得たものもあった訳ですよね？

S: 「負けて」悔しいって言うのもあったから、今の仕事をする上で、「悔しさ」とかバネになって、「仕事でも生かそう」とか、そういうのがいきているのかもしれない。

SA: まだまだだって？

S: まだまだだって。

SA: EAGLES で学んだこと(得たこと)ってありますか？

S: たくさんあるんだけど…「忍耐力」…「忍耐」…「耐え忍ぶこと」(笑)
忍耐は備わったとおもうなあ。

あとは、達成できなかった事で、本当にその目標を達成する難しさと言
うか、逆に学んだ。

負けることで勝つための行動を改めて考えさせられたかな。

SA: メッセージを頂けますか？

S: 人生においてムダな事は一つもない。

なので、決して諦めずに前に進んで貰いたいです。

SA: ありがとうございます。

S: ありがとう。大丈夫？(笑)

SA: 大丈夫。(笑)

(22.2.13 発行)



佐藤真司：24 回生 EAGLES24 代主将 3 年時副将
現役時、RB として活躍。

1997 年度 Jr.ALL STAR GAME(現 VARSITY BOWL)にて MVP 獲得

現役時から「熱い男」としてチームを引っ張り、OB 会事務局長として支え。
今年度より EAGLES STAFF(育成コーチ)として、今もなお「熱く」チーム
をサポートしている。

INTERVIEWER 齊藤拓夫(25 回生)

